

和やかに修了式 ～みんな素敵な笑顔で巣立っていきました～

この上のない穏やかな晴天に恵まれ、心も晴れ晴れといった心地よい修了式となりました。園歌斉唱があり、修了証書授与が始まりました。この瞬間は子どもたちにとっては、おそらく初めての一人舞台だったと思います。緊張しながらだったとは思いますが、練習の成果が出ていて全員落ち着いてできました。証書もらう前に一礼する際、全員の「笑みを含んだ穏やかな顔」と目が合いました。心から「修了おめでとう」のメッセージを送りながら手渡ししてきましたと思っています。小学校で自分のやりたいことを伝えることや、お家の方へのお礼もきっちりできて嬉しく感じました。私の式辞は、「幼稚園でいっぱい成長したよ。という自信をもって元気よく巣立って行ってほしい」ということと、「先生方はずっとずっと応援しているよ！」といった内容でした。はな組のお祝いの言葉や歌、修了児のお別れのことば共に精一杯心を込めて取り組みました。一人一人ができることをきっちりやり、そしてクラスとしてメッセージを伝えるといった大切なことができていました。また、日置先生が作ってくれた思い出のDVDを会場の人々で見ている時の雰囲気は、とてもアットホーム感が漂い楽しいひと時でした。映像を見て、本当に「仲良く生活する中で、いろいろなことを知り、考え、伝えながら成長してきたのだなあ。」と感じました。部屋に戻ってからの先生の話や、お礼の手紙やプレゼントの交換、写真撮影など、これ以上ないといった和やかな雰囲気で「そら組修了」となりました。この和やかさはこの2年間余りの活動の総和であると感じました。しばらくの間、園庭で日置先生を交えて写真を撮ったり、集まって話をしたり、ビオトープや川を観察している様子を職員室から見ていて、今年度「最良の一日」になったなあ嬉しさいっぱいでした。「みんなみんな頑張れよ！」と声援を送っておりました。

(式中は職員は手いっぱいの状況でしたので、この通信に載せる式の様子は撮れておりません。あしからず・・・)

職員と一緒に記念写真 みんないい笑顔です。お花に囲まれて最後の「ハイポーズ！」 いつまでも「とても和やかな雰囲気」でした。



喜志幼稚園との交流 そら組が手紙、FAXや映像で交流していました。 → はな組へバトンタッチ

喜志幼稚園に川の様子を伝えるための動画撮影中→

喜志幼稚園にも「ハート池」というビオトープがあるということ、昨年の4月に転勤していった錦織先生がいるということもあって、交流を続けていました。その中で、メダカを20匹ほどもらえることになりました。今年度のそら組が先輩から川づくりを引き継いだのと同じように、来年度のそら組(現はな組)のみながメダカをもらって、今後も交流していくことができればと思っています。

